



紀伊國名所圖會

二之卷上
名草郡

ル 4
1833
4





丹生神社
 本願寺
 千壽寺
 弁天岩
 真川助左衛門
 伊也古神社
 圓部神社
 伊呂山墓
 伊吉社

總社明神
 法華堂
 日明宮七瀬法
 籤法藏
 役所太母公塔
 椽井
 一樂寺
 南無兵衛城
 九頭神社

明光寺
 昌蒲井
 谷外
 藏王権現社
 南無大日寺
 圓明禪寺
 九頭神社
 赤野天社 藤

浄永寺
 湯掛 傍
 直の茶店圖
 兒の雲
 八王子社
 伊久雄社



雲來雨去竟
茫然臨水登
山何處旋解
道九疑如黛
色今朝依舊
隔相川

縣周南

わさぎの
湖より
わさぎの
山
五雲



滝
中山王子
音無滝

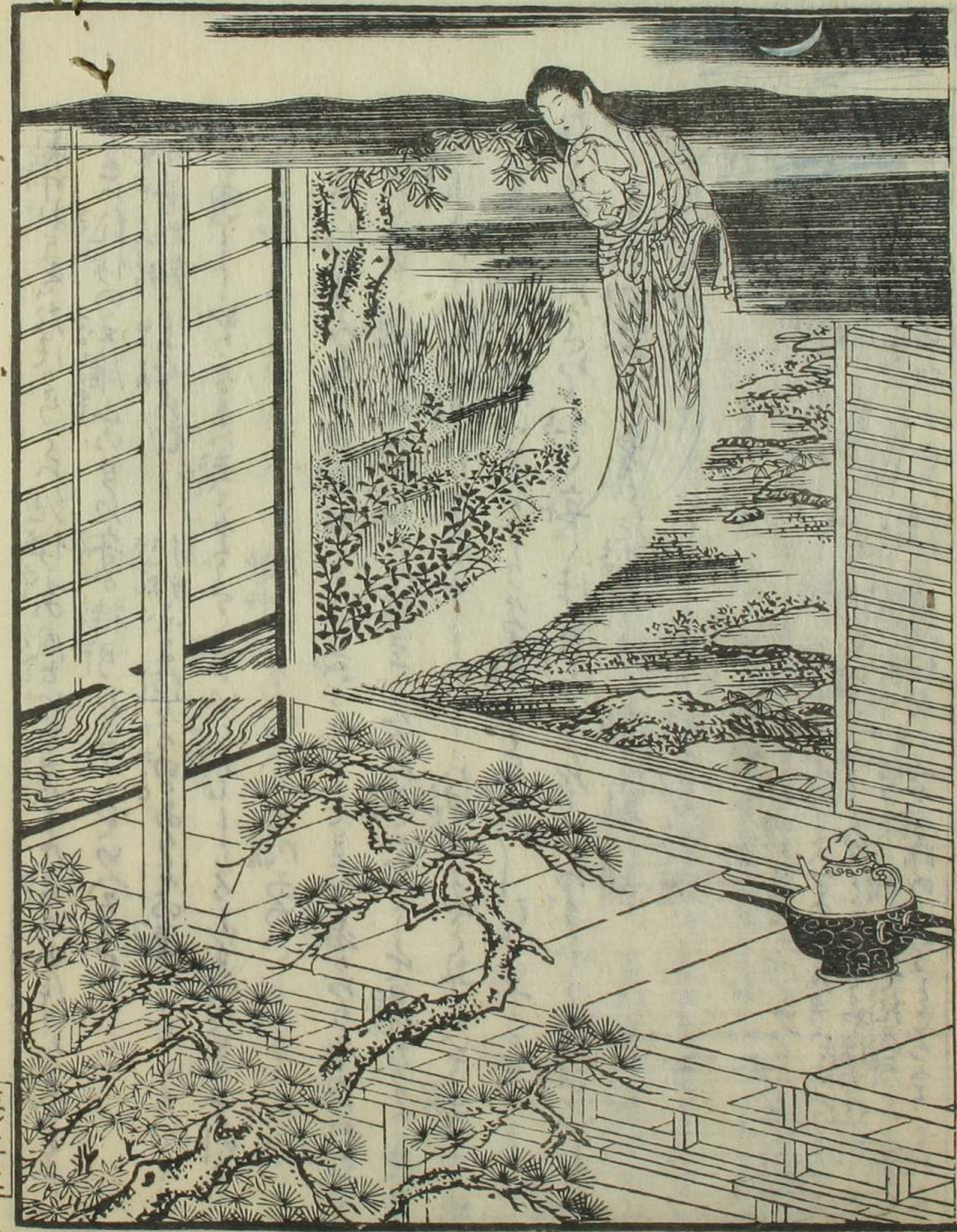
音無の
湖より
中山王子
福米

中山王子

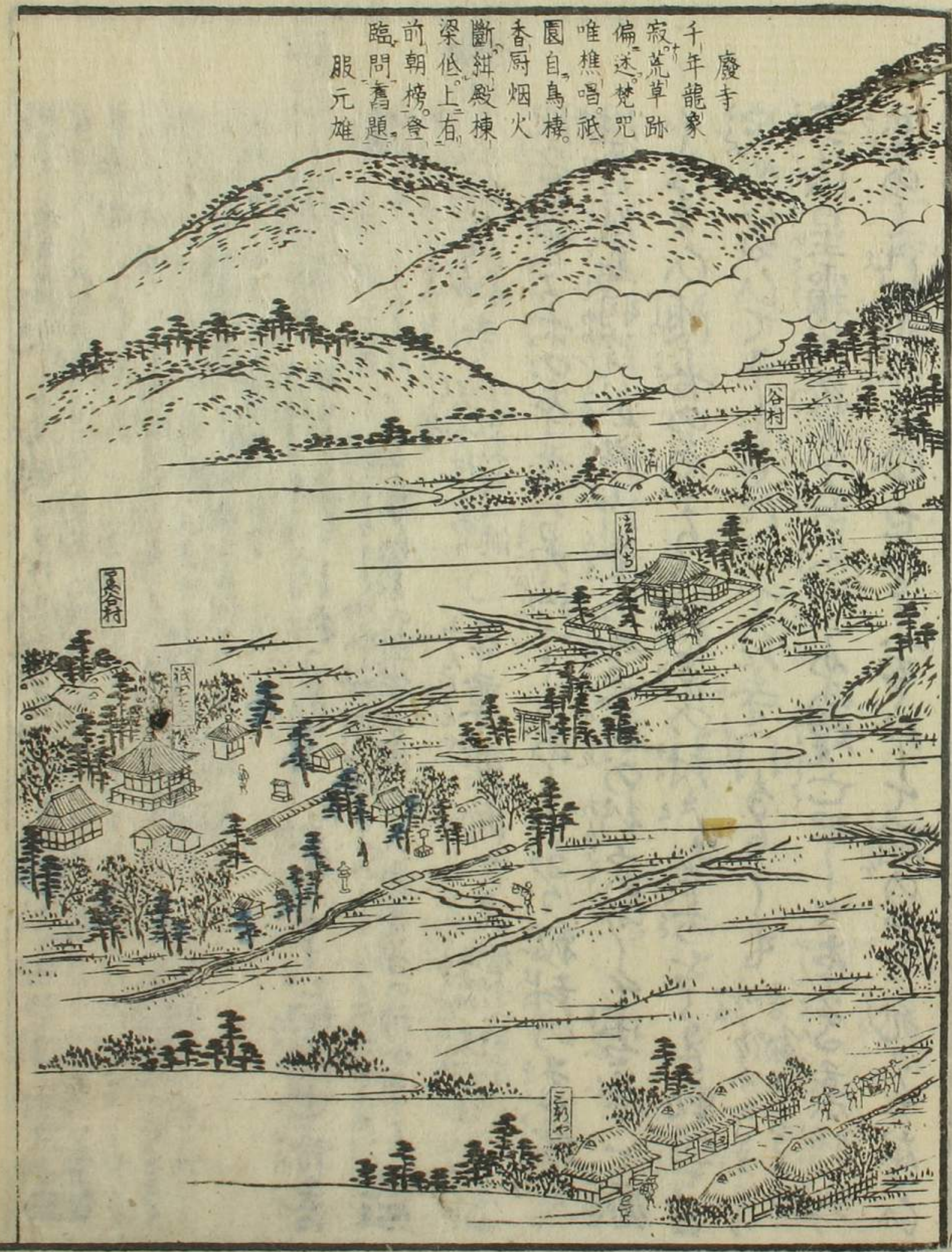
音無村

中山王子





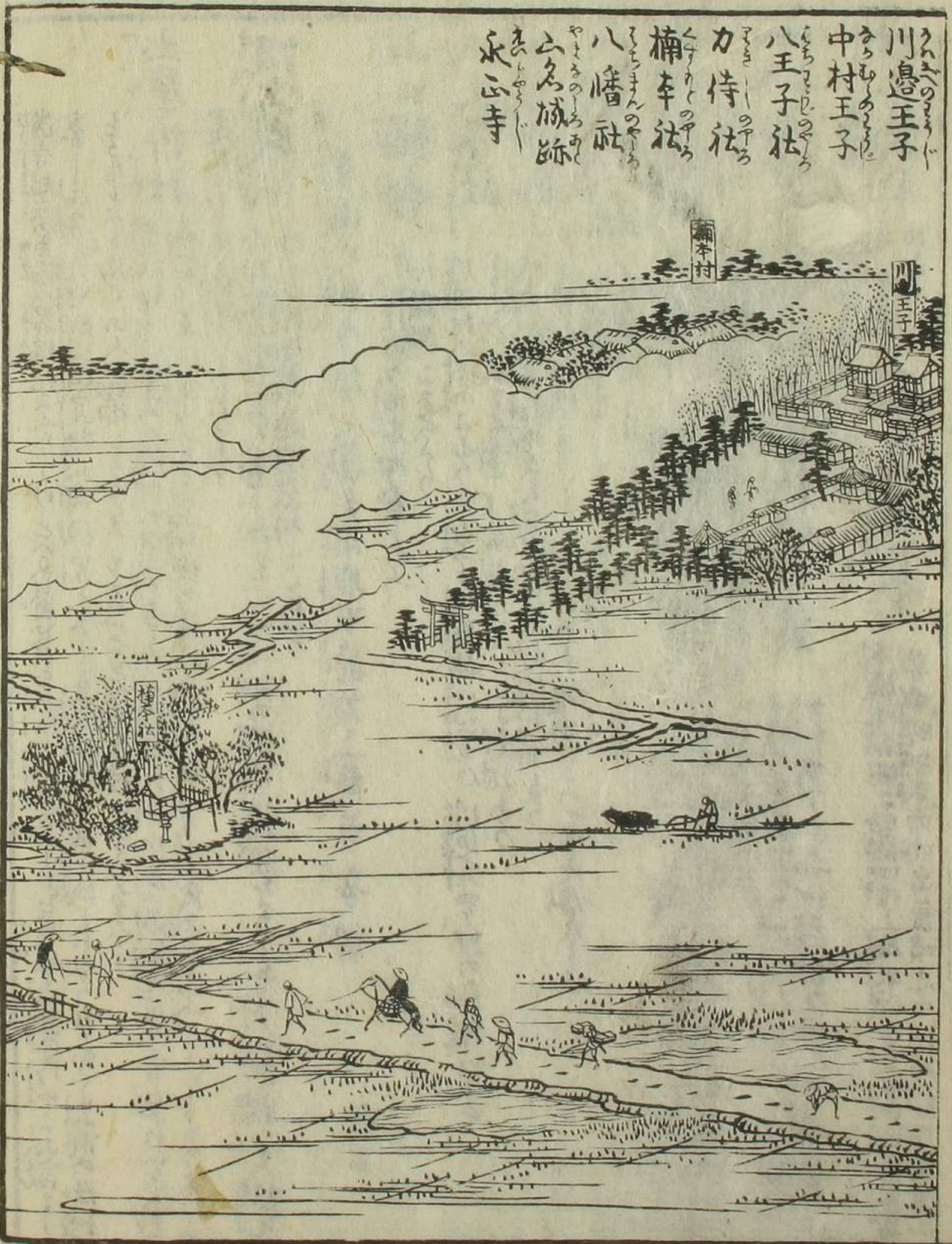
廢寺
 千年龍象
 寂荒草跡
 偏迷梵咒
 唯樵唱祇
 圓自鳥棲
 香厨烟火
 斷緝殿棟
 梁低上有
 前朝榜登
 臨門舊題
 服元雄



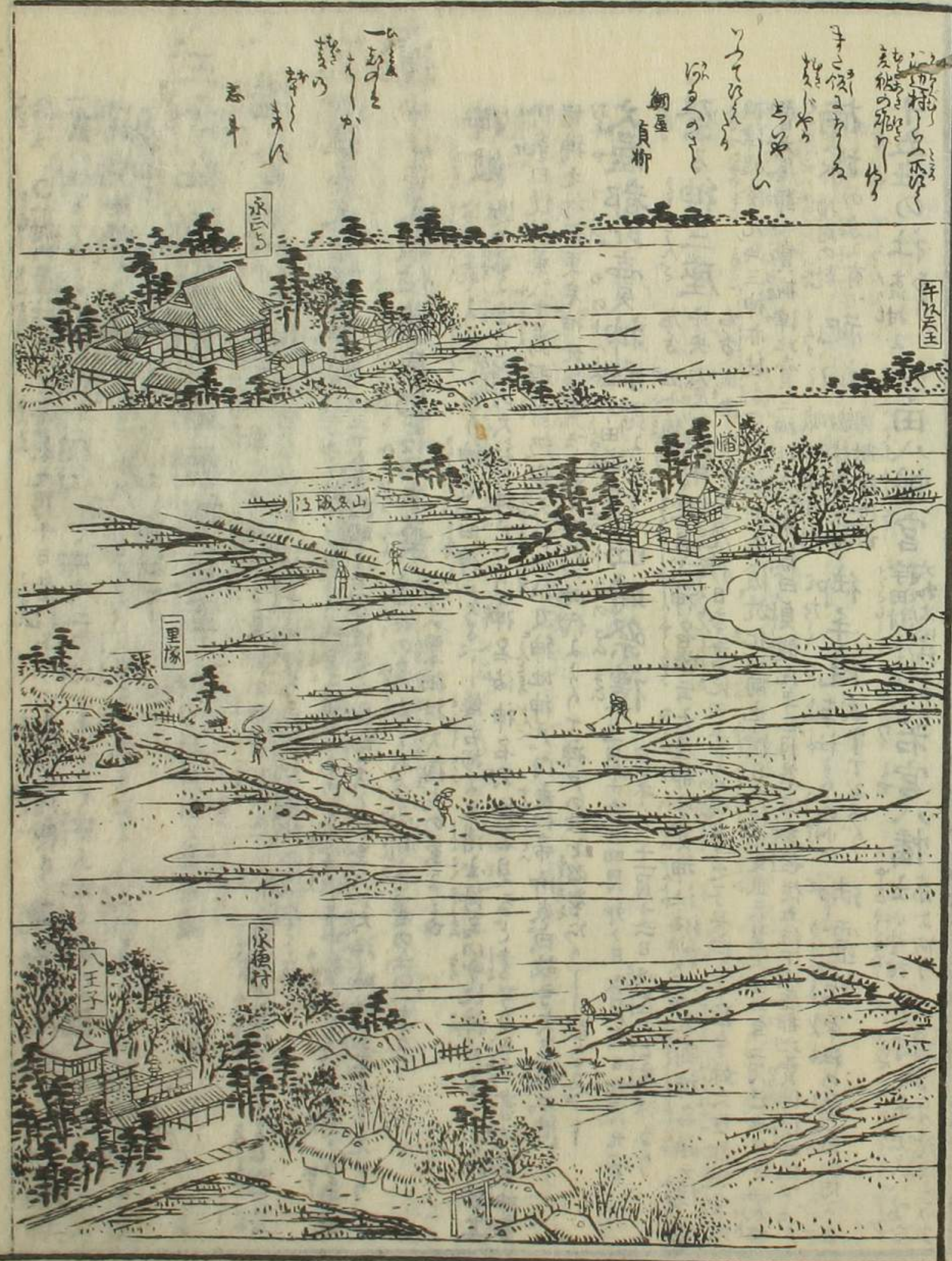
雄山
 白鳥社
 山呈子
 紀國台
 小町寺
 山王社
 法林寺
 土屋社
 祇園寺



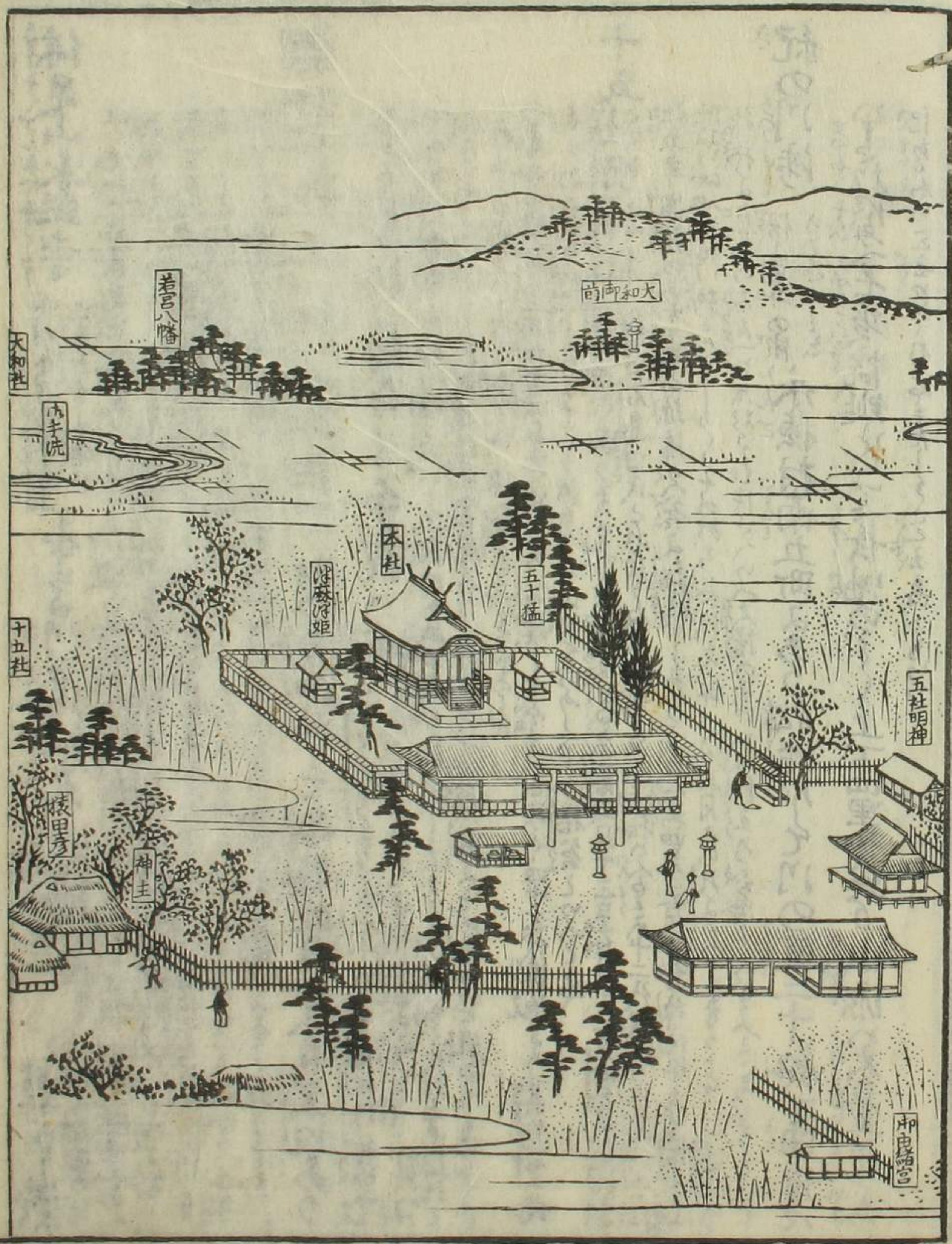
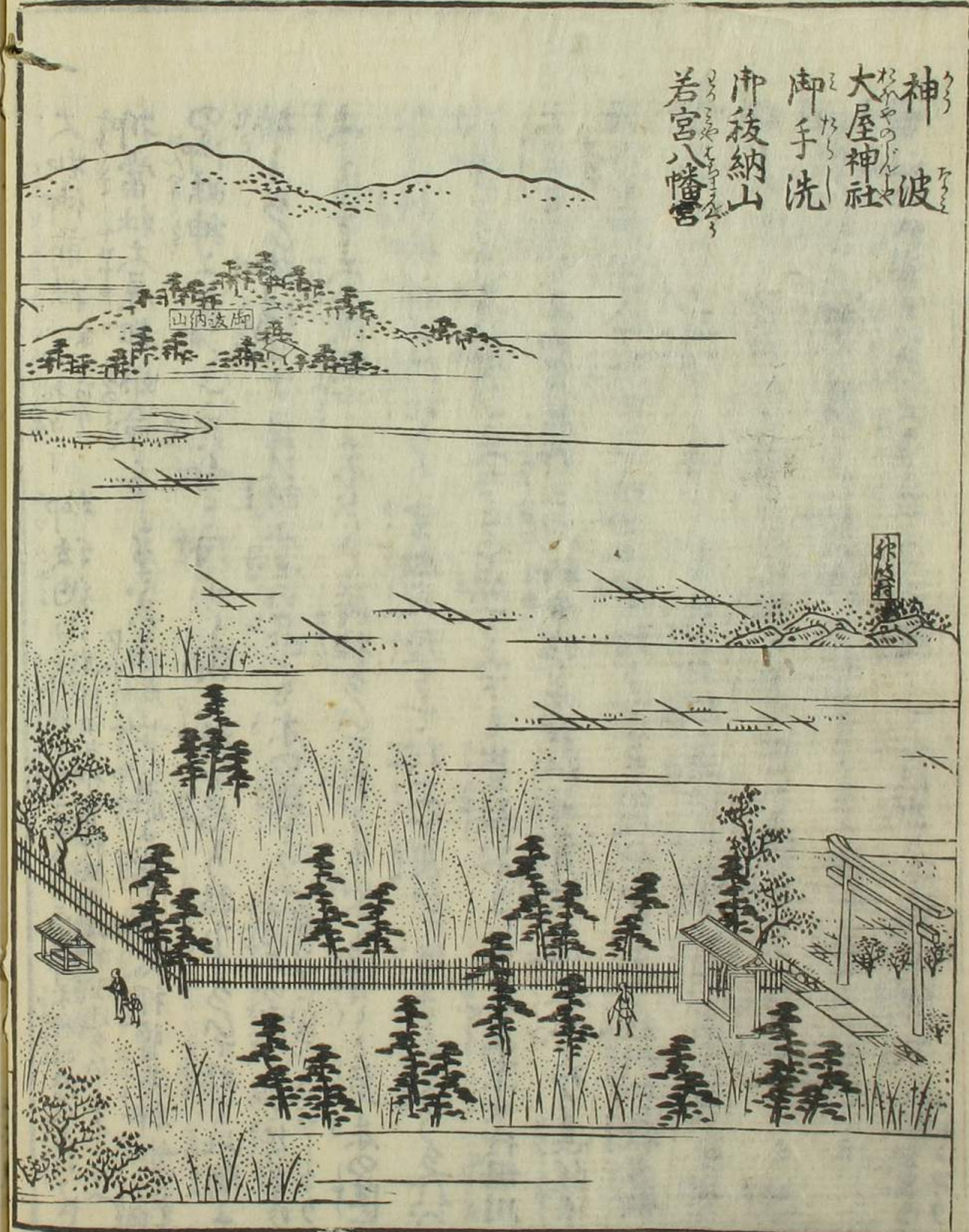
川邊王子
 中村王子
 八王子社
 力侍社
 楠本社
 八幡社
 云名城跡
 永心寺



川邊王子
 中村王子
 八王子社
 力侍社
 楠本社
 八幡社
 云名城跡
 永心寺



神波
 大屋神社
 御手洗
 沖後納山
 若宮八幡宮



紀川の渡し

夜來風雨漲河

流欲渡津頭衆

扁舟試問仙槎

江上客南山幾

嶺花開不

宛番

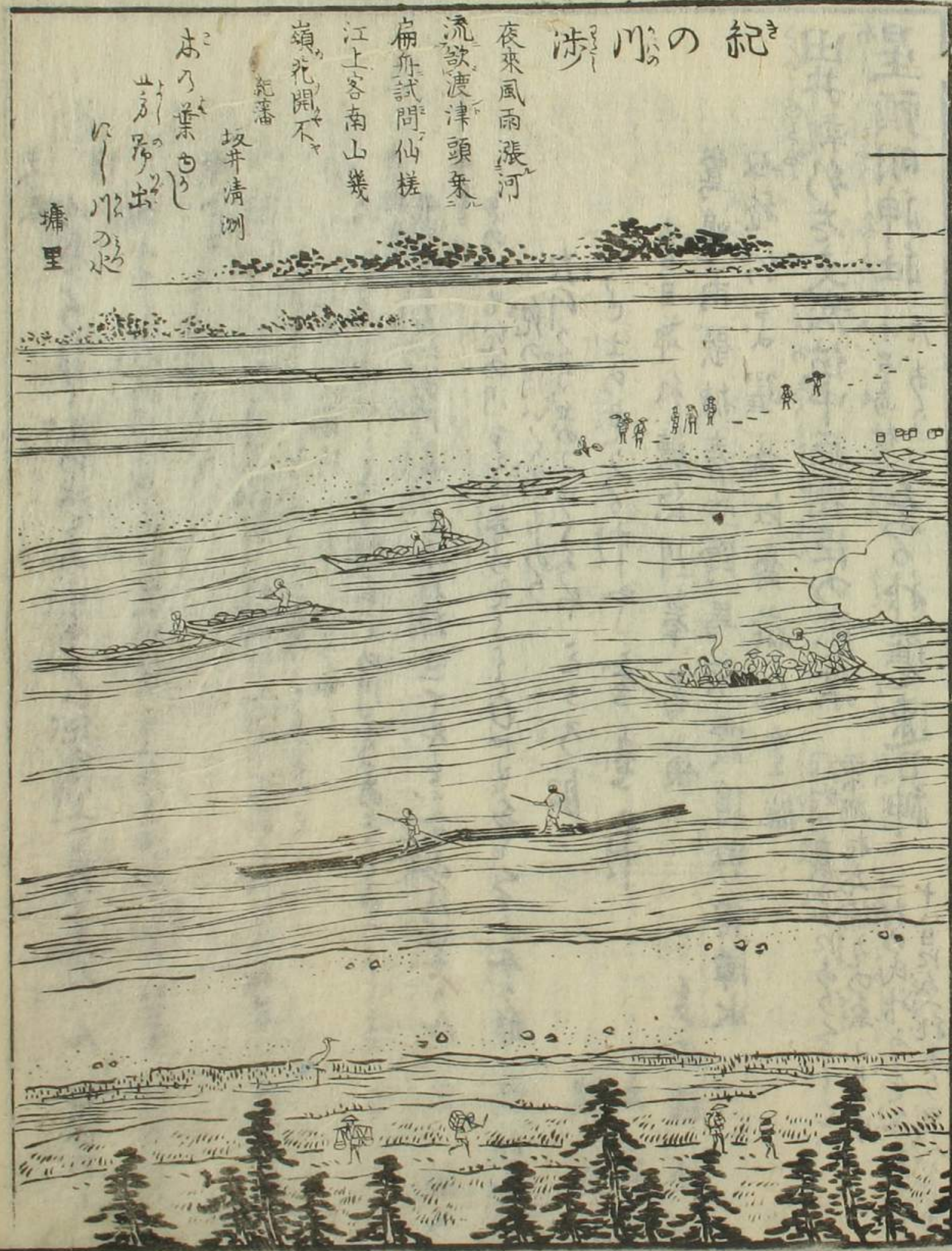
坂井清洲

あつ葉のり

山が尻の出

いし水の池

痛里





遍照山淨光寺

奉安阿彌陀佛

建平二年二月七日... 遍照山淨光寺... 奉安阿彌陀佛... 寺の草創は... 遷す所跡也

大福山奉惠寺

奉安千手觀世音

大福山奉惠寺... 奉安千手觀世音... 二王門... 鐘樓... 僧坊... 經堂... 六所權現社... 見堂... 抑當山... 藥師堂... 妙... 揚... 千手千眼の觀世音

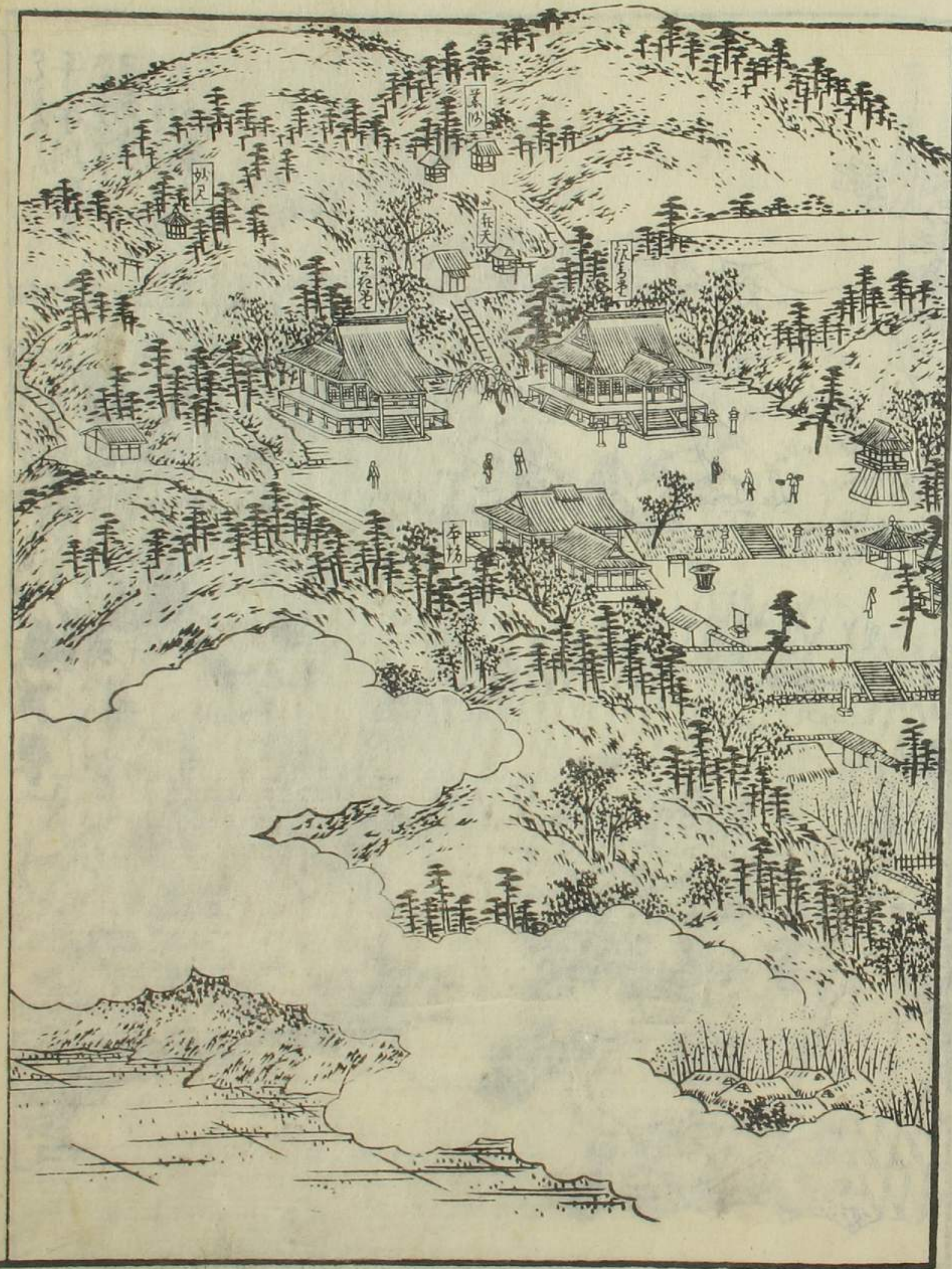
一万二邊のほ他にて... 十二平長五月勅使を...

果よりふふ入奉... 尊として寺を千手と號...

子 師子相伝... 感得の夢夢... 移して禪宗の淨刹...

て觀... 室小慶長年間... 賀ちる人夢想の靈驗...

て諸堂を造立... 終る天む平中日蓮宗の高徳日忠上人



直川奉惠寺

登大福山

香門幾歲相尋稀
仙宇宗寥鎖夕陽
衆豎攢拳望不盡
滿林霜葉隨風飛

堀井清洲

遠望

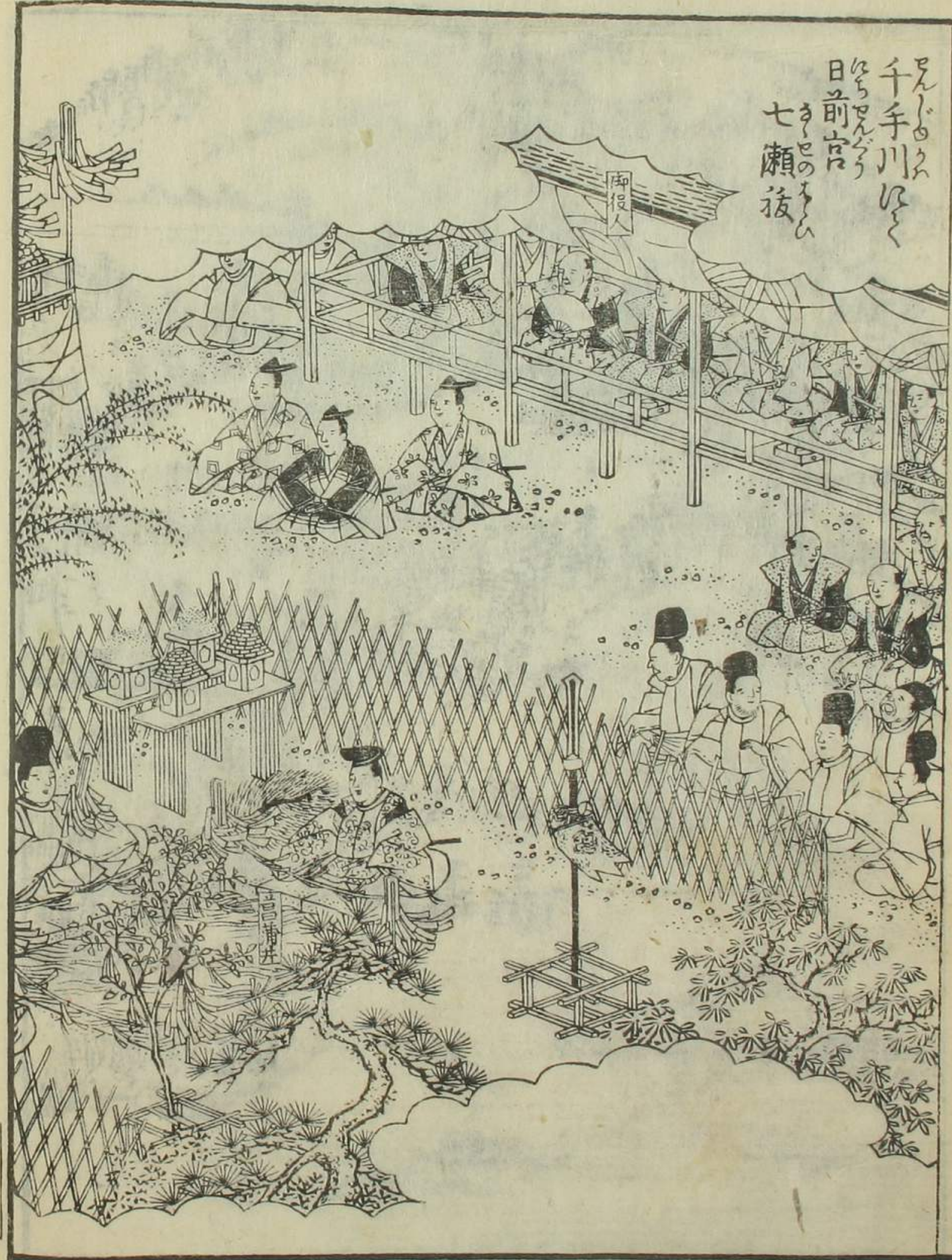
極妙也

山中人這

かろ

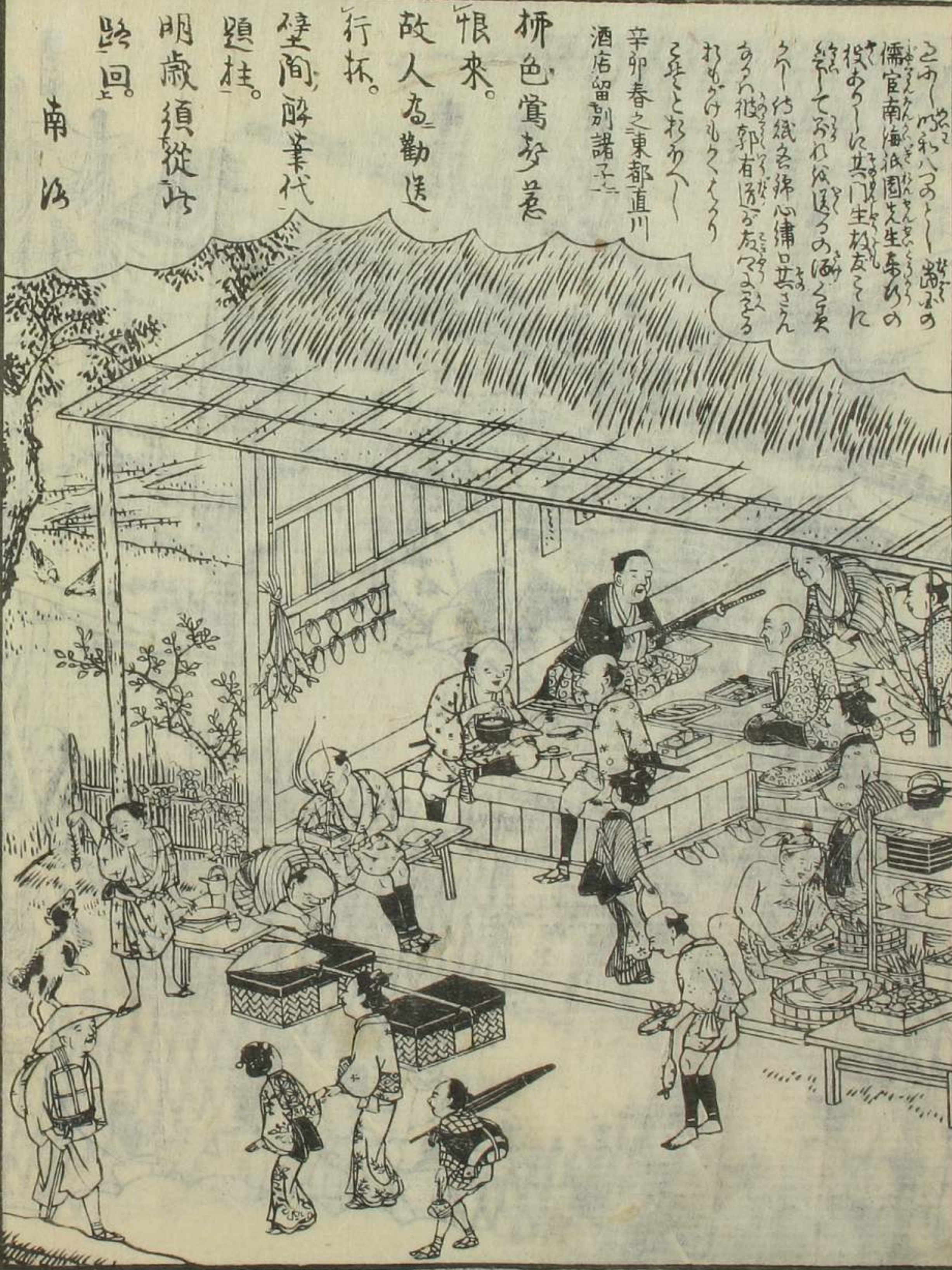
仙化





見よ川
千手川
日前宮
七瀬後

之の... 儒官南海... 後あり... 終して... 今... 辛卯春之東都直川... 酒店留別諸子...



恨来。
 故人を勸送
 行杯。
 壁間、醉業代
 題柱。
 明歳須従ひ
 此回。
 南 乃

を... 中具の... 祖... ち... 奉... 寺... 後... 塞... 乃

草創... 加... 今... 既... 法... 宗... 乃... あり...

什寶... 法... 大... 跡... 乃... 阿... 字...

千尋の原

千尋の原... 田... 千... 手... 村... 乃... 西... 乃... 西... 乃... 西... 乃... 西...

大福山辨財天之處

大福山辨財天之處... 是... 乃... 葛... 城... 之... 山... 中... 乃... 修... 驗...

はるき... 痛... 山... 皇... 傳教大師... 勅詔... 其地... 相... 後... 六十...

直川助之夫散位紀朝臣の末葉

役約者母公石塔

藏王権現社

八王子社

伊之云神社

行方不の神天香山命

伊之云神社... 行方不の神... 天香山命... 伊之云神社... 伊之云神社... 伊之云神社...

南敷山月寺法再院

日吉山王権現社

握り佛堂

僧坊

鳥羽院陵

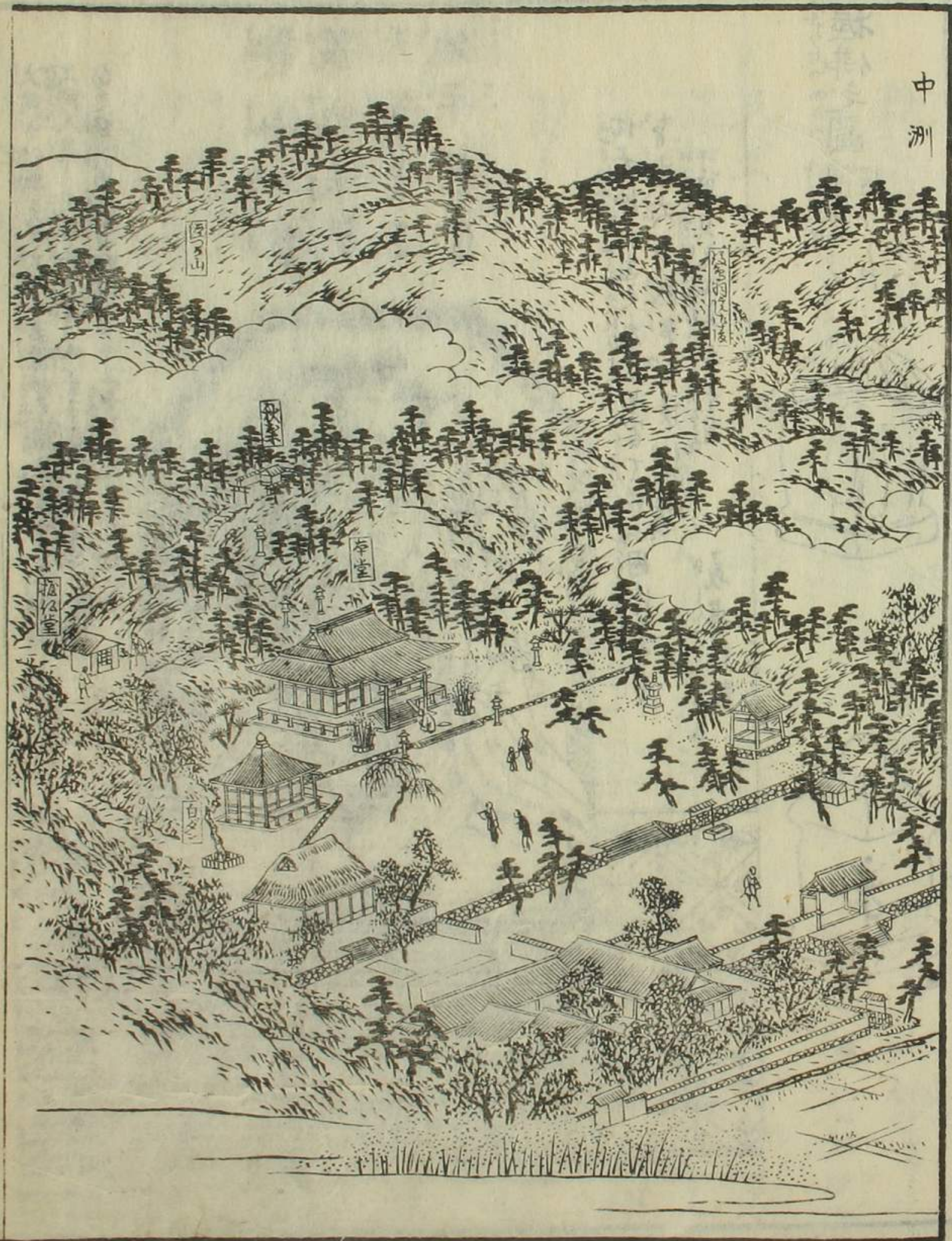
畧縁記

畧縁記... 夫尚山... 皇五十... 代平城... 天皇... 依益建... 立の... 神額... 奉... 傳教大師... 勅詔... 其地... 相... 後... 六十...

谷の地より山岳をりてわに里巻遙く後々峯亦山高く嶽の
松風飄々として毎朝の睡をさぬ一洞水深くして煩悩の熱と
洗つら大師をよろこむは是に神仏の悲捨仏性の靈區
なるべしとて意に具て天奏を經く一字を奉創し親く亦梅檀
をりて匠王菩提のる像と彫刻し是を寄して根本中堂少く
帝敵感はくはつたに於て南敵山大日寺法再院の勅号とて
たまたま其は茶惠院の山仁阿闍梨大師の送跡とてさして
當山より入るいし佛園湖に造立し法再寺に大師を跡
の妙典と納め二味の妙の意をくくあく多宝塔より四塔の寶鏡
伶倫の樂を奏し六楹の華幡舞人の袖籠く口よりさうして是
終ぐは慈覺大師道山よりわく如法經瓜佛しむい釋迦多寶
普賢菩薩のる像と自刻し別院より永安一鐘樓と築く
六時の遷移小の會の曉を待常の堂より跡院尊像二味の念

佛たゆりてなみし美神の社に伽藍の破壊を守り山王の社に
令法久住と行むるに五室の大塔より大日堂より永安とて跡の
秘法と終一切の輪藏より旧女の居趣と法をくくむ妙見
堂より天堂と初し左方の峯に三宗真言律律の三院瓜
起立し右方の峯より自ら書寫の法再と収め経塚山より名付
たる更み麻光都多安養の三院瓜建く奥の院より志のそ
るは嵯峨淳和の兩帝はびく沖掃依の敷く慈深く弘仁
がふ天長の寺号とてい奉ふの三塔と表してはれたる
増立し各根本法再常の三堂と設けく魏々たる仏閣
覺とるを若く美を日し我處より都鄙の清人袂とて
ね緇素渴作のありてぬい雲の一の會儼然とて猶未放せ
ざるかといもさるるかて家なるあまきとてはて後鳥羽院の
押守然野序幸の打ち鳳輿とめざりしむいて堂塔再興の

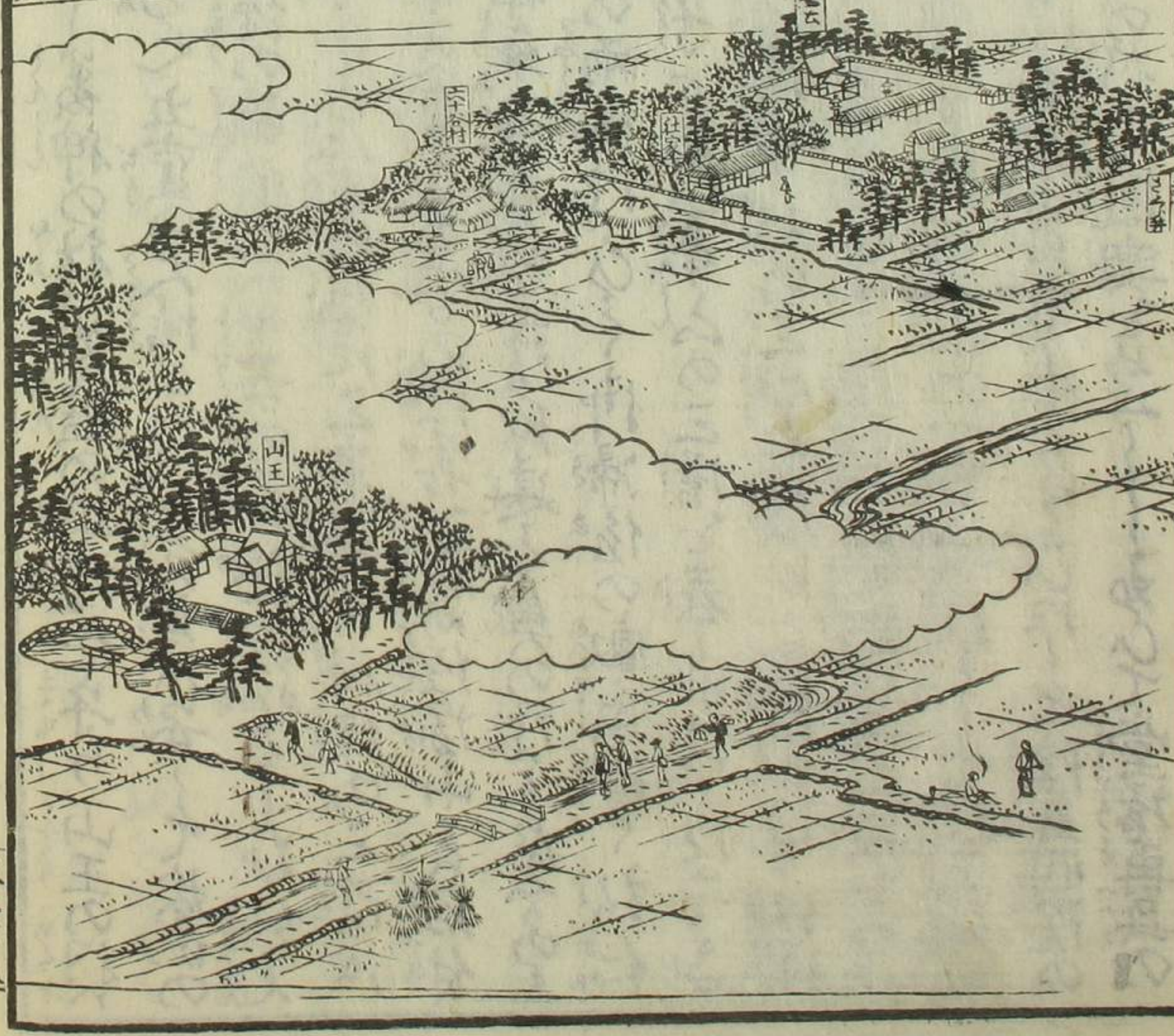
中洲

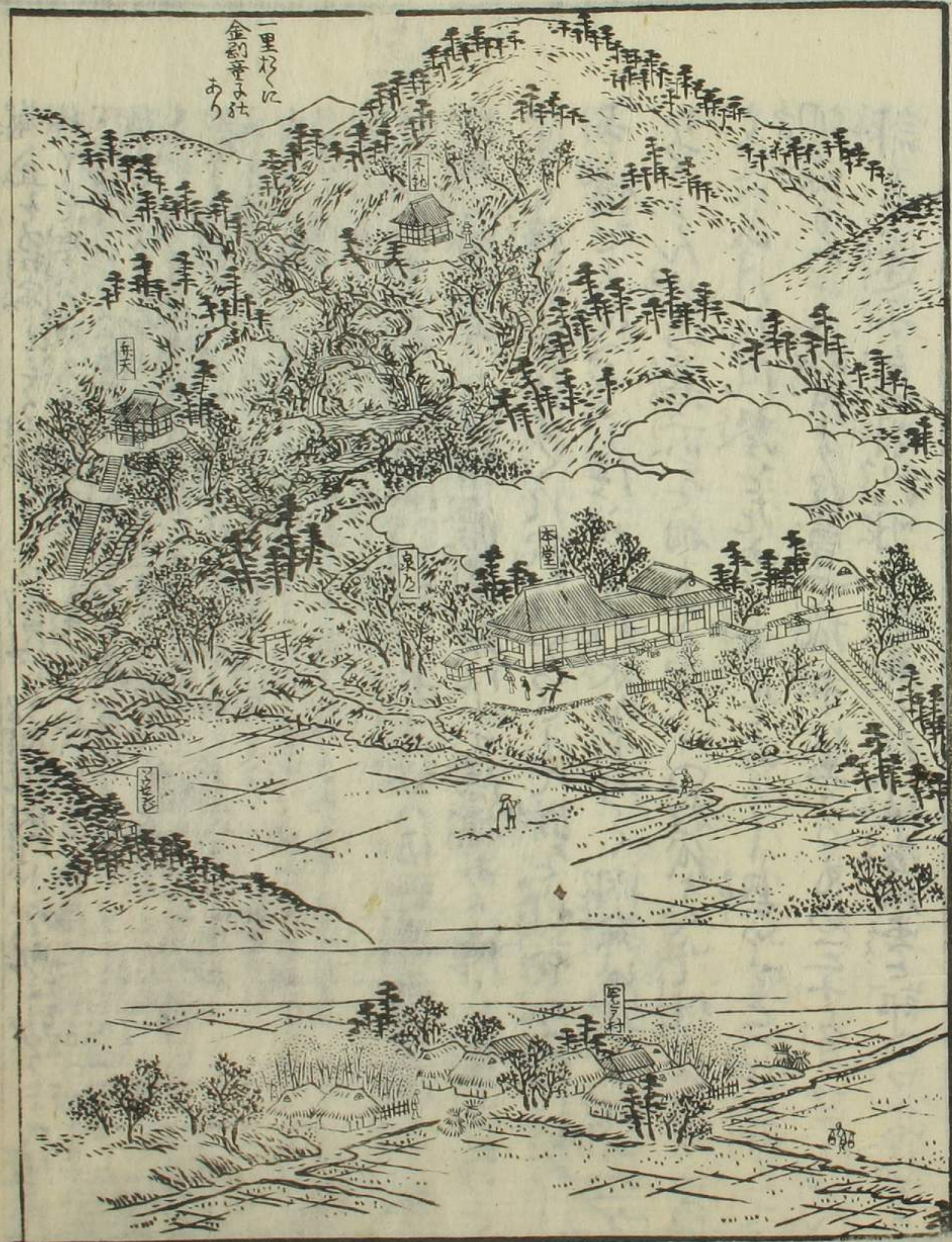


射止社
櫻井
大同寺

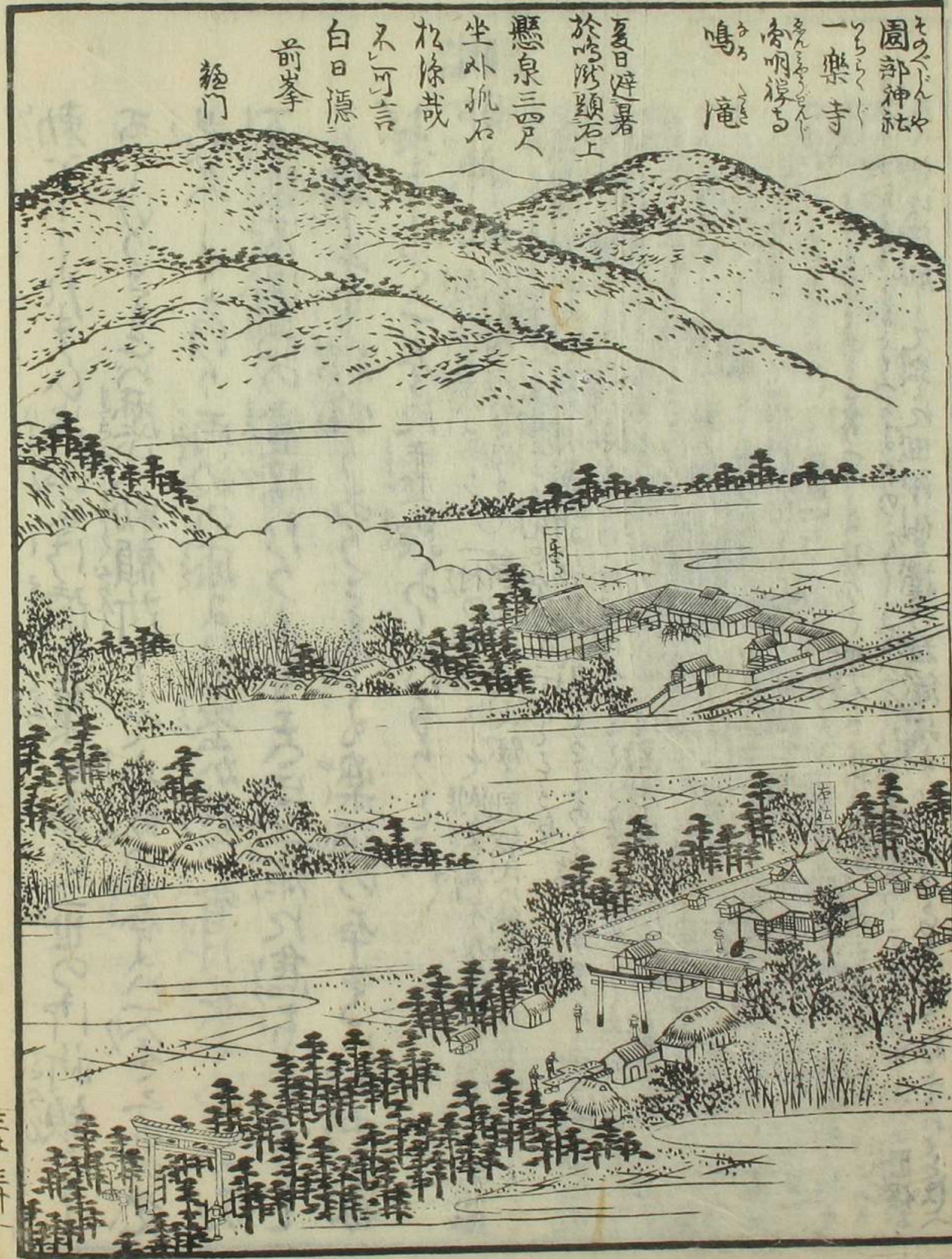
初冬遊大
同寺呈前
法印應公

真際祥雲
菴上方給
園慧日照
高堂林楓
霜染錦成
雁籬菊秋
殘玉作卿
山勢走空
連斗極江
光曳練遶
崇岡道送
不獨探靈
異靜坐偏
攸襲妙香





一里杉の
金剛堂あり



そのつとんや
園部神社
一樂寺
香明様も
鳴滝庵
夏日避暑
於鳴滝頭石上
懸泉三四尺
坐外孤石
松陰哉
不可言
白日隱
前峯
龜門

園部兵衛重茂城跡

其謂鳥遊
 小角之為龍
 其遠亦吾
 一勝境也
 下畧
 州村一畝寺の地則其效ありと云

平家朝臣重盛の遺跡也。其地北一里蓋葛嶺之區別云山中惟禁

海部郡

皇十七年十月五日置海部郡。其地北一里蓋葛嶺之區別云山中惟禁

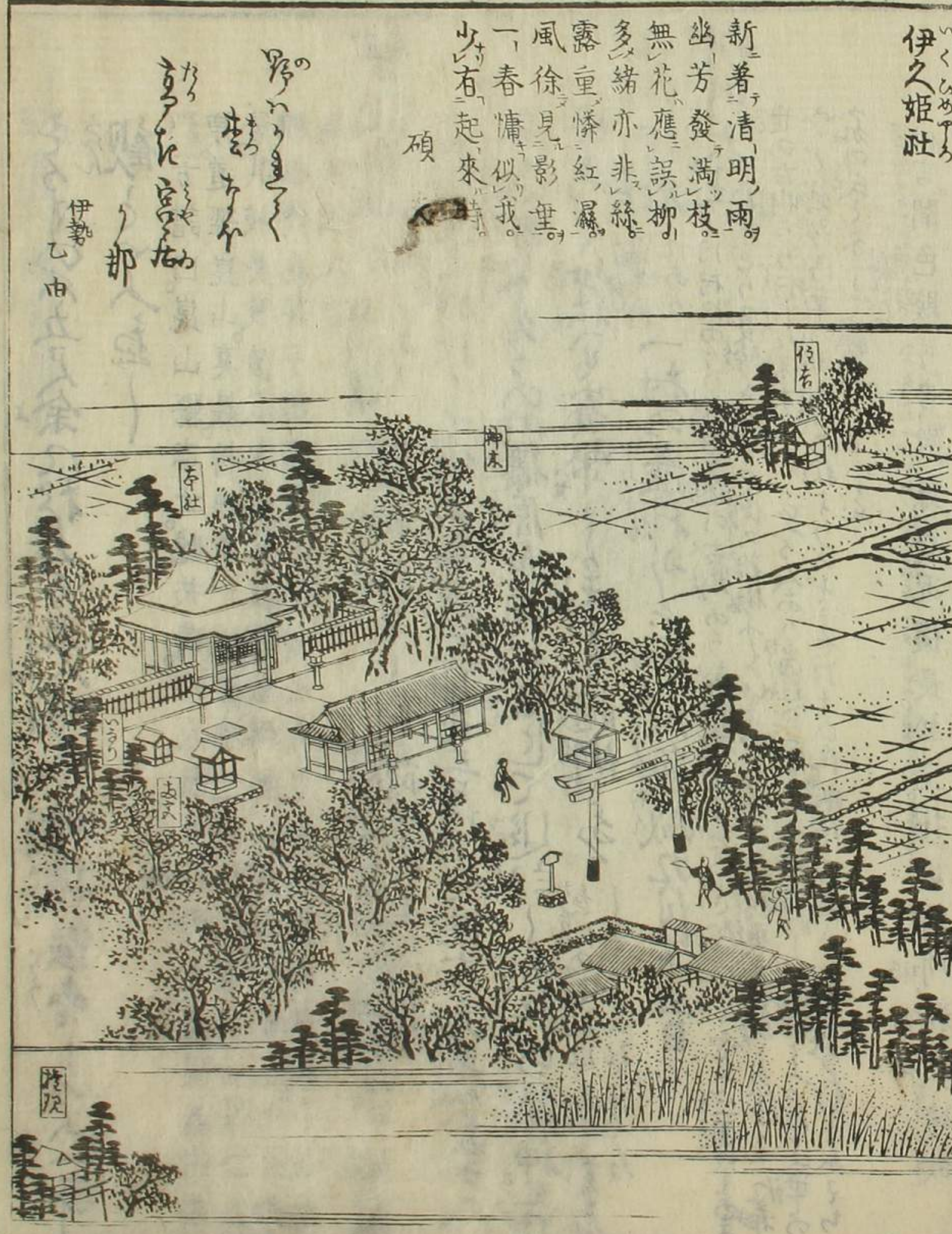
九頭大明神

栗村の産神也。例祭毎年九月十四日。境内は銀杏樹あり

希代の古樹あり幹の太き三圍にあたり枝葉繁茂なり。其最長

伊久姫社

新着清明雨
 幽芳發滿枝
 無花應誤柳
 多緒亦非絲
 露重憐紅羅
 風徐見影里
 一春情似我
 少有起來時



伊久
 郡

瀧水向熱來依入正是朱明節檀場別麗辰

そのもの六尺余にたぐりて人呼く研棒銀杏と云一奇
観と云ふ也

群芳譜曰崑山縣志云龍共猗沐人殿中侍御史扈從高宗南
渡道經崑山真義折銀杏一株插地祝曰若此枝得活吾於是
居其枝長茂後成大樹繁枝蟠屈腫如瘿如乳者九七十餘
顆相傳為其子孫嗣世之數時人異之稱為龔遇仙樹子孫遂

為崑山人云
伊比賣神社 犯る神詳をく
一村の生去神にして例を毎歲九月廿三日にして生古大平宮字八

年異城家々の所藤原貞國の家にて進言し崑山の後神告
りてく世はも賽幣くまらう恒例とあり

九頭神社 一村の産神にして例を毎歲九月十二日
辨財天社 一村の産神にして例を毎歲九月十二日

世の右樹あり月村ありの社内藤原の社あり軒半と云ふは二圃にま
まら蔓條くびくくして例の社あり軒半と云ふは二圃にま
みく世の右樹あり月村ありの社内藤原の社あり軒半と云ふは二圃にま
家の氏とあり藤原の社あり軒半と云ふは二圃にま

休言間色賤可貴殿餘春况復長松上批根得所親垂縷欲

